

人口減少社会にうちかつスーパー・メガリジョンの形成に向けて

～時間と場所からの解放による新たな価値創造～

資料 4 - 2

我が国が直面する状況の変化

- **今後も進展するアジアダイナミズム**
(中国等の経済発展、インバウンドの増加)
- **産業構造の劇的な変化とデジタル化社会**
(第四次産業革命によるAI、IoT化の進展)
- **世界で激化する都市間競争**
(珠江デルタ、BosWash、シリコンバレー周辺等の台頭)
- **世界に広がる価値観の転換**
(SDGsの採択(=持続可能性、多様性、包摂性の重視))

<我が国が抱える課題と強み>

- ・課題：急激な人口減少、異次元の高齢化、東京一極集中の進展、南海トラフ地震等の災害リスク
- ・強み：高密度のネットワーク(交通・情報通信等)による多様な産業集積、地域間格差の小ささ、課題解決先進国としての可能性

<中間とりまとめにあたって>

リニアをはじめとする高速交通ネットワークの効果を最大化し、**スーパー・メガリジョンを我が国の成長の核としつつ、その効果を全国に広く波及**させることを念頭において将来の姿を描く

リニア中央新幹線による劇的な時間短縮がもたらすインパクト

(1) フェイス・トゥ・フェイスコミュニケーションが生み出す新たなイノベーション

- ・「モノをつくる」から「価値をつくる」社会への転換により、イノベーション創出による生産性向上が不可欠に。
- ・フェイス・トゥ・フェイスコミュニケーションを通じた予定調和無き対流を起こす場(=「知的対流拠点」)の重要性が高まる。

リニア開通により、**新たなイノベーションを生み出す過程に必要な交流機会が増加し、交流時間が拡大。**

(2) 「時間」と「場所」からの解放による新たなビジネススタイル・ライフスタイル

- ・働き方が多様化し、将来、ジョブ型雇用が普及する可能性。地方の魅力を求め、田園回帰の傾向も高まる。
- ・人生100年時代の到来により人生のステージモデルが変化し、何歳でも積極的なチャレンジが求められる社会に。

リニア開通による**「時間」と「場所」の解放がもたらす、多様な働き方、暮らし方の選択肢。**

- ・男女問わず労働参画し、子育てとも両立しやすい環境。
- ・高齢者の社会参画により、豊富な知恵や経験が様々な地域の価値創造に寄与。
- ・世代毎に離れて暮らす家族が互いに助け合う、近居的な関係の構築。
- ・働き方の変化とあいまった、仕事と余暇のボーダレス化。
- ・二地域居住等、都市と地方にまたがる全く新しいビジネススタイル・ライフスタイルの誕生。

(3) 海外からの人や投資の積極的な呼び込み

- ・海外から企業、人材、投資を積極的に呼び込むとともに、都市としての暮らしやすさ等も追求していくことが必要。
- ・近年、訪日外国人旅行者の来訪・滞在は、地方への拡大傾向。

リニア開通により、

- ・**三大都市圏の一体化**によって、**海外から見た投資環境としての魅力を向上。**
- ・全国の研究・開発拠点を結ぶ**ナレッジ・リンクの形成**により、**新たな価値と成長産業を生み出すプラットフォームに。**
- ・高速交通ネットワークとリンクし、**訪日外国人旅行者の地方への誘客を更に促進。**

(4) 災害リスクへの対応

- ・首都直下地震、南海トラフ地震の切迫等、国民の暮らしを守ることが喫緊の課題。

リニア開通により、

- ・**東海道新幹線とともに三大都市圏を結ぶ大動脈を二重系化。**
- ・**高速道路とも有機的に繋がり、国土の骨格となる高速交通ネットワークの多重性、代替性を強化。**
- ・東京に集中する経済機能等の分散や、首都機能等のバックアップ体制の整備に寄与する可能性。

スーパー・メガリージョンの形成により実現が望まれる将来の姿

- 「グローバルなダイナミズムを取り込み、これまで培ってきた技術や文化を活かした経済成長を実現しながら、各地域が個性を活かして自立する持続可能な国」
- 「都市部においても地方部においても、各個人が望むライフスタイルの実現に向け多様な選択肢を持つことのできる、多様な価値観を支える国」

◆ 三大都市圏

一体化による巨大経済圏の誕生

◆ 中間駅周辺地域

クリエイティビティと地域の魅力の融合による新たな拠点の誕生

- 三大都市圏に加え、地方経済のコアとなる都市圏が、自らの個性やアジアとの近接性等を活かして、世界に直結し、成長の拠点に

- 世界からヒト・モノ・カネ・情報を呼び込み、売り出していく流れ

- 全国各地の個性の対流により国土全体として成長

正のスパイラルの創出により世界を先導するスーパー・メガリージョン

三大都市圏の一体化による巨大経済圏の誕生と我が国の経済の飛躍

- 人口7千万人を超える巨大経済圏が誕生し、我が国の経済発展のコアとして持続的に成長。
- 各都市圏の個性を更に伸ばし、それぞれの分野に特化した企業や人材、投資を集積。
(首都圏：国際・金融機能、中部圏：最先端のものづくり技術、関西圏：文化、歴史、ヘルスケア産業)
- 中枢・中核都市等は、スーパー・メガリージョンを引き込み、自らも世界に直結する成長の拠点に。

クリエイティビティと地域の魅力の融合による新たな拠点の誕生

- 中間駅は、多様な人材が活発に行き交う知的対流拠点となり、地域の魅力と融合した産業の発展に寄与。
- 都市と地方にまたがる新たなライフスタイルを提供。
- Society5.0の技術と豊かな自然環境が融合した、独自性と先進性の高い地域として発展する可能性も。

広域的に波及するスーパー・メガリージョンの効果

- 鉄道、高速道路、空港、港湾とのアクセスの強化等、既存交通のストック効果を高め、リニア駅を交通結節の核とした高速交通ネットワークを形成。
- 三大都市圏がリニアで結ばれ、4つの主要国際空港が相互補完的に機能。東京・大阪間の輸送ニーズの転換による新たな航空需要への対応や、東海道新幹線沿線地域の利便性向上への期待も。
- 自動運転等、新たなモビリティの活用も必要。
- 各都市圏、各地域が自らの個性を伸ばし、移動の価値を高めるとともに、濃密なフェイス・トゥ・フェイスコミュニケーションを生み出しやすい環境整備をハード・ソフトから行う必要。
- 東日本、西日本を含め、中枢・中核都市等が、自ら世界に直結し、相乗効果を発揮できるような取組を進める必要。